

# みやぎ生協 ボラセンニュース

Vol.123 2015年12月12日(土)

発行：みやぎ生協ボランティアセンター

お問合せ：仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協生活文化部  
(月～金 9:30～18:00、土日祝日休み)

TEL.022-218-3880 FAX.022-218-3663

E-mail: sn.mfukushinet@todock.jp

http://www.miyagi.coop/support/shien/volunteer/

仮設住宅にお住まいの方々の転居や集会所の閉鎖等で、仮設住宅でのふれあい喫茶を終了せざるを得ないところが出てきています。近くの仮設住宅に会場を移したり、店舗での開催を案内したりしているところもあります。しかし、仮設住宅では、これ

までの参加者が転居しても別の方が初めて参加されたり、引っ越された方が心の拠り所として参加されているところもあり、可能な限り寄り添い続けられるよう、集会所の管理者にご協力をお願いして、活動を継続しています。

## ◆各地への被災地訪問が取り組まれ、様々な視点から現地を学びました

エリアやグループごとに独自のテーマやコースを工夫し、復興や支援を考える機会となっています。

### 【南三陸町訪問】

11/2(月) 西多賀店、八木山店、緑ヶ丘、仙台西  
エリア合同こ～ぶ委員会

語り部のお話や、アラスカに漂着した浮き球のある「慶明丸」でもお話を聞きました。

「地域に伝わる言い伝えや、地名の由来を改めて考える大切さに気付かされた」「毎月15日の『ふれあい市(八木山店)』ボランティアに参加したいと思った」



参加者の声

11/28(土) みやぎ生協労働組合(みやぎ生協職員)  
京都生協の皆さんの活動にボランティアとして参加したほか、語り部のお話を聞きました。

「行政側と地元の人々の復興の温度差を感じた」「多くの生協のなかまの支援に感謝したい。京都生協の方々の4年にわたる継続支援に感動です」

参加者の声

### 【石巻市・女川町訪問】

11/13(金) 貝ヶ森店、木町店、愛子店、八幡町店  
エリア合同こ～ぶ委員会

石巻の新しい魚市場や、女川駅舎なども視察。

「物だけではなく心の復興も大切で、まだまだ時間がかかることがわかった」「自分に出ることで、手を差し伸べられることを、日々心の中におくことが大切だと思った」



11/13(金) 大富店・黒川、明石台店、市名坂店  
エリア合同こ～ぶ委員会

石巻地域の理事とエリアリーダーから震災当時の様子を聞き、女川では新しいまちづくりを学習。

「報道ではわからなかった話を聞いて良かった。今度は家族と来て、その話を伝えたい」

参加者の声

## ◆全国の生協からの支援

### 【11/28(土) 京都生協の皆さん】

宮城県漁協志津川支所と登米市の仮設住宅で、餅つき&ふるまい企画に取り組んでくださいました。地元の方々と京都生協の皆さんに加え、「海の虹プロジェクト(※)」に参加した子どもたちや、

みやぎ生協職員ボランティアも参加し、交流の機会となりました。



※海の虹プロジェクト(京都生協) 復興を担う子どもたちへの支援として、2012年から毎年1回、南三陸町の中高生を京都に招いてくださっている活動。

### 【10/30(金) コープこうべ第2地区の皆さん】

鹿折中学校仮設住宅に来訪され、ドラムサークルで



音楽を通して交流。仮設住宅の方から「楽しかった。ぜひまた来てください」との声が寄せられました。

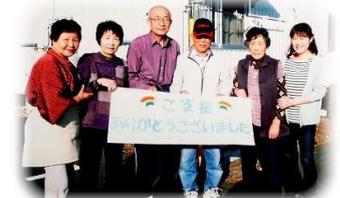
### 【11/18(水) コープこうべ第4地区の皆さん】

山元町ナガワ仙台工場仮設住宅のふれあい喫茶に来訪。こうべの皆さんから「人とふれあうことは、互いに元気づけることにつながると実感」との声が寄せられました。



## ◆3年の活動を終了しました

七ヶ浜町汐見台7丁目仮設住宅でのふれあい喫茶が、お住まいの方々の転居により、10/23(金)で最後となりました。活動してきたサポーターは「長いようで短かった。最初は不安でしたが、仮設住宅の皆さんから学ばせていただき、お会いできたことに感謝です」と話し、参加された方からは「普段は話すことの無い年代の方々などとお話できて、とても楽しい3年でした」との言葉をいただきました。



.....ボランティア活動予定の一覧は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

(みやぎ生協ホームページ→くらしのサポート→東日本大震災からの復旧・復興をめざして→ボランティアセンター)

みやぎ生協ボラセンニュース、次回の発行は1月7日の予定です。